

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	◎	*	*	*
	○	家電量販店（店員）	販売量の動き	・7～8月にかけての伸びは前年の前月比より3ポイントほど高くなっている。前年比98%と前月より4ポイント高く、徐々に景気回復を感じられるが、前年超えはなかなか厳しい。好調な商材は、冷蔵庫とスマートフォンである。
	○	乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・3か月前と比べて、今月の方が断然良く、ホテル関係の来客数もものすごい状態である。当地は観光地なので、土日以外でも観光客が結構来ていて、ホテル、ドライブイン関係等は少し良くなってきたという話を聞いている。新型コロナウイルスの感染第7波の影響で、また勢いがしばらくしまっているが、3か月前よりは良い。
	○	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・今月に入り、県民割等の効果もあり、個人旅行もおおむね順調に推移している。通常、お盆明けには落ち着いてしまう個人の動きも、落ち込むこともなく推移している。また、お盆前後の教育旅行も堅調である。
	○	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症と向き合っていく傾向が加速している。
	○	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・コロナ禍が続いているものの、行動制限がない分、来客数の動きは改善傾向で、景気も良くなってきている。ただし、物価上昇のため、販売数は思ったほどの伸びはない。
	○	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増加しているものの、来園者数は前年よりも大幅に増加している。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月前半は新型コロナウイルスの新規感染者数が減った状態が続いていたので、皆、気が緩んだのか、行事に出席したり、観光や旅行に出掛ける人が多くなり、少し活気が出たような気がしていた。その後、当地も他県と同じように新規感染者数が増えてしまい、外出を控える人が多くなり、人の動きは悪くなっている。
	□	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比べて販売量は変わらない。ただし、新型コロナウイルス感染症の発生前と比べると、6割弱の売上にとどまっている。
	□	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症に対する行動制限はないものの、新規感染者数は高水準で推移していることから、高齢者を中心に、外出自粛の動きが見られる。
	□	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・行動規制のない夏休みだったので、上向きと思えたが、新型コロナウイルスの新規感染者数は依然高止まりで、来客数はそれほど伸ばしていない。
	□	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・今月は前年と違って、新型コロナウイルスによる行動制限がなかったため、観光客や県外客が多く見られる。
	□	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・特に、夏物商材の動きが悪く、前年比70%と苦戦のまま終了している。海外からの部材等入荷が悪いため、仕事が大幅に遅れている。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・相変わらず、新車販売は低調なまま、納車まで早くても3か月～1年掛かっている。そのため、整備部門の売上等でしのいでいる状況である。
	□	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	来客数の動き	・一点、改善されつつあるのがメーカーの秋物商材入荷の見通しが少し明るくなってきたことである。いまだに生産が上向かない物が多い。また、新型コロナウイルスの新規感染者数が依然として減らないため、メインターゲットである中高年齢の客の動きが悪い。
	□	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・来客数に波はあるが、客が戻りつつあり、新型コロナウイルス感染症の影響は減ってきている。物価高により利益率が下がっており、値上げは必須の状況になってきている。常連客の来店頻度が落ちてきており、客に聞くと、物価高の家計への影響があるようである。
□	一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・他店を回る取引業者が口々に、「どこも皆、良くない」と言っている。値上げと新型コロナウイルス感染症でかなりの打撃が続いているようである。	

□	観光型ホテル (経営者)	それ以外	・8月はオンシーズンで、今年の夏は行動制限がなかったので、客の動きはかなりある。もろもろの条件はあるにせよ、新型コロナウイルス感染症の発生前の2019年比で、80%は越していない。先日、某OTAとの勉強会にて、過去最高の数字を出したと明示されたが、地域の現状とはかけ離れている。リアルエージェントと団体、インバウンド客が非常に少なくなり、国内個人客のみ動いていることの現れである。今年～来年にかけては、観光宿泊業の数字の差異が多く見られると思うので、一方の数字だけではなく、より多角的に数字を分析しなくてはいけない。
□	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大によって回復のスピードはやや鈍化したのが、確実に売上は伸びている。7月などは新型コロナウイルス感染症の発生前をも上回る売上を記録していた。
□	タクシー(経営者)	お客様の様子	・昼の動きは良かったが、夜の動きが良くなかったのが、新型コロナウイルス感染症の発生前の同月と比べて、横ばいである。
□	通信会社(社員)	単価の動き	・海外の異常な物価高に比べれば、日本はまだ抑えている感じを受ける。今後は物価も含めた経済の動きに注目していきたい。
□	通信会社(局長)	販売量の動き	・相変わらず、半導体不足による機器の納期が不安定であることや物価高騰等の要因から、販売は伸び悩んでいる。
□	競輪場(職員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波の影響で、来場者数が低調ながらも横ばい状態が続いている。
□	その他サービス [自動車整備業](経営者)	お客様の様子	・物価上昇と新型コロナウイルスの感染拡大で、客の消費にブレーキが掛かっている。購買意欲につながる手段を講じているが効果はない。安心安全につながることを説明しても最小限でと望む客が増えている。
□	設計事務所(所長)	お客様の様子	・建設関係はやや動きがあるものの、飲食や旅行関連は新型コロナウイルスの新規感染者数急増により、懇親会や旅行の自粛が増え、落ち込んでいる様子である。
□	設計事務所(所長)	単価の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波もあり、景気の回復が見込めない。
□	住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・当社は外国人労働者向け住居のニーズが急に増えていたものの、落ち着いてきている。
□	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・引き合いはちらほら出てきたが、皆、検討時間が長く、なかなか成約には結び付かない。貸店舗についても、店舗を開業するかどうか、新型コロナウイルス感染症の影響で再び営業がストップになるのではないかと心配しているのか、動きが悪い。
□	その他住宅[住宅管理・リフォーム](営業)	お客様の様子	・台風の季節を迎えるが、屋根や外壁の問合せがやや少ないと感じている。原材料高については周知の事実となっているようで、いまだ様子見の感じがする。
▲	一般小売店[青果](店長)	来客数の動き	・取引先の料理屋等では、日中の時間帯はほぼ客が入るが、夜はこれだけ新型コロナウイルスの新規感染者数が出ているために、ほぼ来店がなく、客が激減しているとのことである。
▲	百貨店(営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の高止まりが地方都市でも顕著で、来客数に影響が出ている。
▲	スーパー(商品部担当)	単価の動き	・1品単価の上昇は値上げによるもので、客単価や買上点数の上昇は見込めない。生活必需品を筆頭に、値上げ傾向が落ち着かないため、やや悪くなっている。
▲	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・前年比で、売上は98%、来客数92%、客単価105%で推移している。朝と夜の時間帯の来客数が大きく減少している。店舗前の工場の休みとリモート勤務の影響が大きい。5～6月と売上が前年を上回ったが、7月後半から8月にかけての新型コロナウイルスの感染第7波の影響により、8月は前年比98%となっている。
▲	乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・車両の納期遅延が続いている。受注も減少しているため、販売量も減少している。

▲	自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症のせいか、来客数が少ない。周辺道路をみても、動いている人が少ないように感じている。旅行に行くメリットが全く分からず、Go To Travelキャンペーンのシステムも分からないので、良いことが何も伝わってこない。
▲	住関連専門店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの特需が終息し、来客数が前年割れしている。3年前の新型コロナウイルス感染症の発生前の水準に戻っている。
▲	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が多く、身近なところでも感染者が出ているため、予約のキャンセルがかなり多くなってきている。
▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	単価の動き	・当社主力の事業所給食部門、特に、社員食堂では、改めて在宅勤務を増やす動きが出てきたことに伴って、提供食数が減少する取引先も見られるようになってきている。また、新型コロナウイルス感染症対応で突発的に食数が減少して食材ロスが発生することもあり、食材費の上昇と併せて、収支を悪化させる要因となっている。
▲	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・無理をして利益を削り、廉価商材を作り出して、何とか販売数を維持している。
▲	ゴルフ練習場（経営者）	単価の動き	・商材の仕入単価が、発注するたびに上がっている。
▲	美容室（経営者）	来客数の動き	・円安誘導政策は、国内の資産価値を相対的に下落させることとなり、欧米先進国に比べて資産貧乏になる。先進国と威張ってられるのも今のうちかもしれない。
×	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大第7波の影響で、景気は停滞している。祭礼等のイベント効果から景況感は一時的に上向いたものの、その後の新規感染者数増加で、街歩きをする人が激減し、来店客も少なくなってきている。
×	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・物価高が響いて、客の財布のひもが固くなっているようである。
×	百貨店（店長）	来客数の動き	・前年8月は当県も緊急事態宣言期間中で来客数が激減していたので、本来であれば今年は大幅な来客数、売上増になると思われたが、新型コロナウイルスの感染拡大により想定していたレベルには至っていない。
×	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数がまた増加してしまっただけで、どうにもならないくらい客が出てこない。当店の顧客が高齢者ということもあり、自己防衛に走って、街に出てこない。売上は毎日本当にゼロ行進が続いており、どうしたらよいか分からないほど大変である。
×	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・8月に入り、来客数の低下が顕著である。行動制限のない夏で、観光地等への客足は戻っているようだが、ほぼ全商品群に渡る商材価格の値上げで、レジャーに関する消費が伸びることは、生活関連品に対する節約志向が強くなるということなので、来客数の低下として表れている。
×	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の高止まりでの推移が続いているため、特に、高齢の常連客の足が遠のいている。
×	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波や新型コロナウイルスオミクロン株の別系統など、もう限界である。
×	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊部門は順調な稼働を継続しているが、料飲部門では新型コロナウイルスの感染第7波の影響で、会合等の延期やキャンセルが相次いでいる。
×	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波の影響が出ている。3か月前は稼働が回復してきた矢先だったが、第7波に見舞われて、やや悪くなっている。
×	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が日々過去最高を更新していて、行動制限がなくても、飲酒等をしている人がいない。電車に乗っている人も少ない。若い乗務員が少ないなか、タクシーの給料では生活ができないと、当社以外でも退職者が目立つようになってきている。午前中は多少動きがあっても、午後から夜や深夜は仕事にならない。

企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	金属製品製造業 (経営者)	受注価格や販売 価格の動き	・取引先からの受注予定数量が増加しており、やや良くなっている。
	○	一般機械器具製 造業 (経営者)	取引先の様子	・当社の主な取引先は15社ほどあるが、仕事の特異性もあり、毎月受注があるわけではない。8月は全社から注文依頼があったので、景気は上向きかと思われる。
	○	電気機械器具製 造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・何社か取引先があるが、どこの会社も9月以降は少し多めの注文をもらっているため、やや良くなってくる。
	○	輸送用機械器具 製造業 (総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・生産は回復しているものの、人員不足が否めない。
	○	司法書士	受注量や販売量 の動き	・悪い流れがちょっと止まったような感じがしている。
	□	窯業・土石製品 製造業 (総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・酷暑に対応しながら、製造に励んでいる。
	□	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・受注量がなかなか増えず、少ない。売上が増えると良いと願っている。
	□	一般機械器具製 造業 (経営者)	取引先の様子	・今月も、自動車の組立ライン稼働停止が続いており、地元自動車部品サプライヤーの多くで、今月の休業日数を増やしている。当社も今月は金曜日を稼働停止にしている。
	□	輸送業 (営業担 当)	取引先の様子	・今月も猛暑となり、エアコン、扇風機等の夏物家電は前年並みの物量を確認している。しかし、燃料コストの高止まりやドライバー不足による車両確保費用が高くなり、利益は薄くなっている。
	□	経営コンサルタ ント	それ以外	・新型コロナウイルスの新規感染者数が再び増え始めているが、買物や行楽への人出をみると、心理的に行動自粛要因となっている様子は多くなく、警戒ムードはさほど広がっていない。経済活動は意外と堅調であり、消費者の買物行動も普通になってきている。
	□	社会保険労務士	取引先の様子	・業績の回復は業種によってまちまちだが、この夏の消費は思っていたほどは盛り上がりがない。
	□	その他サービス 業 [情報サー ビス] (経営者)	受注量や販売量 の動き	・システムの商談件数や納入件数は増加傾向にあるが、特段の変化はみられない。
	▲	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・前年比で、売上、来客数共に減少している。
	▲	輸送用機械器具 製造業 (経営 者)	取引先の様子	・この1～2か月は、取引先、競争相手等の様子も、若干落ちている。9月は多少取り戻せると思っている。
▲	広告代理店 (営 業担当)	取引先の様子	・材料費の高騰により収益が圧迫されているようで、宣伝広告予算は削られる一方である。	
×	建設業 (開発担 当)	受注量や販売量 の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。現与党政権誕生後から現政権まで、公共工事は順調に推移している。元首相銃撃事件は大変ショックであり、国葬に対する賛否両論はあるが、警護がしっかりしていれば、防げたと思うと本当に残念でならない。今期の公共工事発注額は前年比23%減と厳しく、当社受注も前期比10%減で、厳しい決算になるとと思われる。	
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・白物家電や一般家電等の冷房商材と衣料品は買い増しがあったようである。住宅関連では、外壁、屋根等の修繕、塗装関係で活発な動きが見受けられる。生鮮食料品等の購買は、価格が若干高めながらも、人の動きが増えたせいもあるかもしれないが、良かったようである。
	□	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・サービス業、製造業を中心に、派遣依頼数は増えているが、正社員としての転職活動も並行して進めている方が多く、紹介できる派遣スタッフの不足が続いている。
□	人材派遣会社 (管理担当)	求人数の動き	・派遣求人数に変化はない。短期派遣の状況も落ち着いている。	

□	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・ 求人数も増えているが、求職者数も増加傾向にある。
□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・ 5月と比べて、新規求人数は建設業、飲食サービス、宿泊業、卸、小売業等で減少しているものの、全数ではここ3か月は同水準で推移している。前年同月比では15.9%増加と、10か月連続の増加である。
□	学校〔専門学校〕（副校長）	周辺企業の様子	・ 新型コロナウイルス感染症の収束がまだみえないなかで、少しずつ経済活動は前向きに動いているように感じている。しかし、世界情勢や電力不足等により物価が高騰しており、今後の消費行動は控えられるのではないかと。
▲	*	*	*
×	—	—	—